

● 土をあらさず  
吸収率の高い

# 骨燐

元肥

元気がない



追肥



比較試験をしてください!

過剰障害はありません

新しい生化学の研究によると緑色植物の光合成反応にもとづく、糖類の生産過程ではリンを含む酵素やアデノシン三リン酸 (ATP) など高エネルギーの有機リン酸化合物が生細胞におけるエネルギーの貯蔵や伝達、及び、物質代謝などに重大な役割を果すものであることが明らかにされ改めて有機リン酸の働きが注目されてきています。

骨 燐  
(品質と特長)

は主として牛骨からゼラチン分を抽出して精製された高級燐酸肥料 (リンサン38%保証) です。

肥効が速く、強く、持続する特長をもちます。

骨 燐  
(組成と性格)

の燐酸成分は、骨粉とおなじく溶性で吸収効率のたかい第二燐酸カルシウムの形態となっており、土壌中の鉄やアルミナに吸着固定されにくく肥持ちがよく、しかも易溶性で速やかに作物に吸収・利用されます。

骨 燐  
(形状と働き)

は微粉末状となっており土壌と混和しやすく、また雨水などにより、土壌の深層にまで滲透して強い肥効をあらわします。

骨 燐  
(施用と肥効)

は骨粉とおなじ使い方、みかん・果樹・茶用及びそ菜園芸用として元肥や追肥に最適です。果実は色沢・香気をまし熟成がはやります。

水稻などの元肥としても、根群の伸長・有効分ケツ・子実歩合などをたかめます。老朽化水田では特に効果的です。

# 磷酸成分・カルシウム成分の吸収率は最高！

## 骨燐の施用法

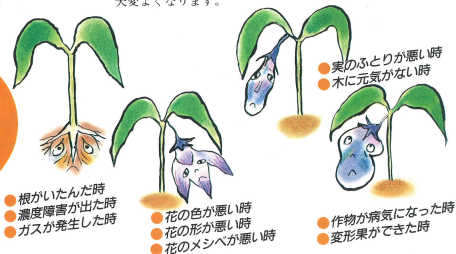
骨燐は多施、連用しても濃度障害をおこすおそれかほとんどなく、しかも過石よりも速く作物に吸収されはじめ、かつ、骨粉や重焼燐等よりも長効きもする特性をもっていますので、この利点をいかして施用法は次のようになります。

- (イ) 過石や熔リンの代りにそのまま施用しても著しい効果があります。
- (ロ) 元肥として慣行施肥量に10a当り骨燐100～200kg (5～10袋)を余分に施用することも簡明で効果的な施用法です。
- (ハ) 10a当り施用例

- ① 水稲・イ草…元肥 (慣行施肥) に骨燐60kg (3袋) を加える。  
及びたばこ
- ② 野菜園芸…元肥 (慣行施肥) に骨燐100～200kg (5～10袋) を加える。  
(ハウス) 追肥60～100kg (3～5袋)。ガス害の心配はありません。
- ③ みかん…元肥 (2月頃) に骨燐60～100kg (3～5袋) を全面施肥。追肥なしとして、花の咲く時期に60kg、糖度・着色が大変良くなります。
- ④ 生姜・芋…元肥に60～100kg (3～5袋) を全面に施肥する。色・形が大変よくなります。

# 骨燐

## 追肥の時期



## 骨燐の完全分析例

項目	成分量	項目	成分量
1. リン酸全量	41.83%	8. 鉄	0.07%
2. 内く溶性リン酸	39.56%	9. ほう素	0.0337%
3. 内可溶性リン酸	24.46%	10. 亜鉛	0.02%
4. 内水溶性リン酸	4.47%	11. マンガン	8 ppm
5. カルシウム	37.00%	12. 銅	1 ppm
6. 珪酸	0.36%	13. モリブデン	4 ppm
7. 窒素全量	0.09%	14. PH	6.4

(日本肥糧検定協会・分析)